まちの話題 Machi no Wadai

どきどき・わくわくの4日間

士別市小学生みよし市派遣団訪問

みよし市と友好都市提携をしている北海道士別市から、交流事業の一環として小学生18人が1月8日から11日までの4日間、みよし市を訪問しました。8日の歓迎式で小野田賢治市長が「交流を通して、みよし市の良さを知ってもらいながら士別市の良さも再確認してください」と歓迎。期間中、三吉小学校の児童との交流事業に参加したり、トヨタ自動車の組み立て工場を見学したりするなど、みよし市のことを楽しみながら学びました。

今年一年の無火災・無災害を願う

消防団出初・観閲式

防災意識と消防団員の士気を高めようと1月12日、消防団出初・観閲式が南部コミュニティ広場で行われました。放水訓練の後、小野田市長が来賓者と一緒に消防団員を観閲。続いて市長が「住民の信頼と負託に応えられるよう、さらなる精進を期待します」と激励しました。最後に、長年消防団活動に尽力された功労者への表彰が行われ、恒例となった「火の用心」三唱で、みよし市の今年一年の無火災・無災害を全員で願いました。

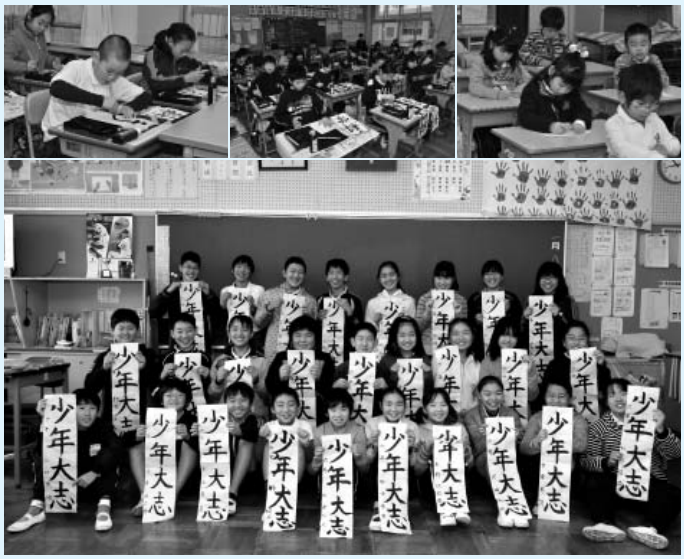
110番通報の正しい運用を

110番の日ＰＲ活動

1月10日の「110番の日」に合わせて、正しい110番通報の仕方を知ってもらおうと1月10日、アイ・モール・イオン三好店でＰＲ活動が行われました。これは毎年、豊田警察署が行っている催しで、この日はロンドンオリンピック陸上女子４００ｍリレー日本代表で、豊田警察署の1日警察署長に任命された市川華菜さんも来場。マジックショーなどで、訪れた買い物客に正しい110番通報の仕方を呼び掛けました。

一筆一筆に気持ちを込めて

書き初め大会（天王小学校）



新春恒例の書き初め大会が1月7日から9日にかけて、市内全小学校で行われました。8日に行われた天王小学校では、全校児童が参加して、1、2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で各学年ごとに決められた課題に取り組みました。「字の形や大きさ、位置、バランスに注意して」「気持ちを込めて」などと、先生から書き方の注意を聞くと、児童たちは、納得のいく作品を書き上げようと、お手本を見ながら一心不乱に筆を走らせていました。

伝統の遊びを楽しく体験

伝承遊びの会（北部小学校）

日本で古くから親しまれている遊びを体験し、みんなで楽しみながら日本の伝統文化に触れてもらおうと1月7日、毎年恒例の伝承遊びの会が北部小学校で行われました。1年生がこま回し、2年生がけん玉、3年生が割りばし鉄砲、4年生が百人一首、5年生が羽根つき、6年生がたこ揚げにそれぞれ挑戦。けん玉では、大皿などの技で名人を決める大会が開催されるなど、児童たちは思い思いに古くから続く遊びを楽しみました。

クラスの思い大空に舞う

たこ揚げ大会（南中学校）

お互いが協力して物事に取り組みクラスの団結力を高めようと1月10日、南中学校で毎年恒例のたこ揚げ大会が行われました。全校生徒366人が、それぞれのクラスで、今年の干支の馬をモチーフに思い思いの絵を描いたオリジナルのたこをつなげて、学年ごとに連だこ揚げに挑戦。生徒たちは、どこよりも早くたこを揚げようと、クラス一丸となってグラウンドを駆け回り、全クラスのたこが冬の大空高く舞い上がりました。